



水上学園前期課程の子どもたち（旧 岩野小）

議会だより

第40号

もくじ

12月定例会 …………… 14	一般質問…………… 16
条例などの審議結果…… 14	議員活動報告…………… 19
補正予算…………… 15	編集後記…………… 21

令和5年第4回定例会が12月6日(水)に開催され、人事案件2件、条例改正6件、令和5年度各会計補正予算4件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	水上村固定資産評価審査委員会委員の選任同意	馬場地区 川原 勝英氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第2号	水上村固定資産評価審査委員会委員の選任同意	古屋敷地区 黒木 元資氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第3号	水上村議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	議会議員の期末手当の支給割合及び報酬月額を改正	可決 (全員賛成)
議案第4号	水上村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	村長等の期末手当の支給割合及び給料月額を改正	可決 (全員賛成)
議案第5号	水上村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	一般職の職員の期末・勤勉手当の支給割合及び給料表を改正	可決 (全員賛成)
議案第6号	水上村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	会計年度任用職員の期末手当の支給割合及び給料表を改正	可決 (全員賛成)
議案第7号	水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	国保加入者が出産された場合の産前・産後期間に係る国保税の所得割額及び均等割額を減免	可決 (全員賛成)
議案第8号	水上村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	内閣府令（基準となる府令）の改正にともなう条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第9号	工事請負変更契約の締結	第2期市房山キャンプ場大規模改修土木工事に係る変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第10号	工事請負変更契約の締結	水上村小中一貫教育校増改築工事の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第11号	工事請負変更契約の締結	村道古屋敷柳平線道路災害復旧工事（関連）の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第12号	工事請負変更契約の締結	祓川河川災害復旧工事の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第13号	工事請負変更契約の締結	土用木場川河川災害復旧工事の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第14号	工事請負変更契約の締結	美尾谷川河川災害復旧工事の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第15号	工事請負変更契約の締結	水上村簡易水道施設遠隔監視システム装置改修工事の変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第16号	村道の認定	宮原神揚線を村道に認定	可決 (全員賛成)
	水上村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	委員4名及び補充員4名が当選（下記のとおり）	当選
	継続審査申出書		可決 (全員賛成)

○選挙管理委員会委員

- 当選人 岡本 孝教氏（古屋敷地区）
- 当選人 杉野 孝司氏（馬場地区）
- 当選人 那須 利広氏（宮田地区）
- 当選人 藤本 文男氏（上楠地区）

○選挙管理委員会補充員

- 当選人 山中 泰久氏（古屋敷地区）
- 当選人 服部 真二氏（湯山覚井地区）
- 当選人 森崎 美之留氏（岩野覚井地区）
- 当選人 北村 一夫氏（北目地区）

高城公園東側に陸上競技場を建設

造成工事費6億5千万円を予算化



建設予定地を調査する議会議員

スポーツ環境整備事業は、用地買収と実施設計業務が進められており、今定例会において、第1期工事（造成工事）に必要な6億5千万円が予算化された。また、駐車場の確保も必要であり、用地を追加購入するための公有財産購入費として予算額514万5千円を追加。財源については造成工事費及び用地購入費の2分の1を地方債（過疎債）で賄い、残りの2分の1にはそれぞれふるさと応援基金を活用する。

今後は令和6年度に第2期工事、令和7年度に第3期工事が計画されており、主な

整備内容は400m全天候トラック（8レーン）、人工芝フィールド（サッカー場）、ナイター照明、クラブハウス、駐車場などとなっている。

地方創生関連拠点のメインを担う競技場として、近年最大のプロジェクトが本格的に動き出している。

令和5年度水上村一般会計補正予算 （第6号）

歳入歳出予算の総額に**8億1,350万円**を追加

歳入歳出予算の総額に8億1,350万円を追加し、総額を66億6,800万円とするもの。価格高騰緊急支援給付金事業2,648万円、スポーツ環境整備事業費6億7,989万5千円、水上村お徳〜ぼん事業補助金500万円、市房山キャンプ場大規模改修工事（単独分）4,000万円、スクールバス車庫用地整備工事300万円、令和5年災林道幸野線災害復旧工事5,500万円などが追加計上された。

令和5年度水上村国民健康保険 特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

国民健康保険特別会計（事業勘定）

歳入歳出予算の総額に125万4千円を追加し、総額を**3億1,262万7千円**とするもの。

令和5年度水上村介護保険 特別会計補正予算（第2号）

介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額に110万3千円を追加し、総額を**4億3,267万6千円**とするもの。

令和5年度水上村農業集落排水事業 特別会計補正予算（第3号）

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出予算の総額に130万円を追加し、総額を**7,463万9千円**とするもの。

いずれも審議の結果、原案のとおり承認・可決した。

村の現状！今後の見通しは！！

一般質問



小川 恵 議員

**Q. 『義務教育学校』が
目指すものは**

**A. 水上っ子の学びの充実と
環境の保全**

問 水上学園として、特色ある取り組みとする3つの柱を立て、教育活動を展開されているが、今後児童・生徒に9年間を通して習得させたいことは何か？

答 西野教育長

「水上で生まれて良かった、学んで良かった」と思ってもらいたいのも、3本の柱をたて教育を展開

① 英語教育の充実…全学年に英会話科・3年生以上はフィリピン人講師とオンラインレッスン

② 郷土教育の充実…各学年で行うふるさと学習を『みずかみ学』とし、村の良さを学ぶ

③ ICT教育の充実…タブレットを授業で使用しICT活用能力の伸長を目指す

まだ開校9ヶ月であり、成果・課題は今後洗い出し、一層の教育効果をあげていきたい。

問

新学習要領では主体的、対話的で深い学びの実現に学校図書館の活用が期待されると示されているが、後期課程図書館においては、暗い

夏は暑く、冬は寒い等の生徒の声を聞いた。

新年度における司書教諭の配置及び図書館の場所や環境整備は？



後期課程図書館

答 教育課長

次年度、水上学園は13学級となるため司書教諭の設置が義務付けられ、設置においては県人事より配置される。

前期課程図書館は後期課程の現職員室を改修し、前期課程蔵書を中心に配置予定。今後はさらに本に親しみやすい環境をつくりたい。

**Q. 子育て世代の保護者が安心して働けるためには？
A. 今後も安心・安全な子ども達の居場所づくりに務める**

問 働く子育て世代の保護者が1番気になる、新年度のわんぱくキッズ塾の予定は？

答 教育課長

前年度に、該当家庭に放課後の過ごし方についてアンケートを実施した結果、わんぱくキッズ塾利用希望が8割もあり、今年度も岩野公民館にて実施中。文部科学省管轄の「子ども達を見守る事業」として20年間定着し、本年度は36名の申込みがあった。新年度においても、再度、該当世帯へ意見等を聞き取る予定であるが、場所については熟考中。関係各所と協議し、安心・安全な子ども達の放課後の居場所づくりに務めたい。

問

わんぱくキッズ塾対象外の児童（4～6年生）は昨年度までは、公民館図書館等で過ごしていたが、今年度当初から利用できなくなり困った家庭もあると聞いた。その理由は？



わんぱくキッズ塾の様子

答 西野教育長

放課後における学校の指導は、

① 下校時、保護者に断りなく公民館に立ち寄りたくない（帰宅が遅くなり心配する為）

② 保護者の迎えを待つ場合は、学校内で待つこと、と確認した。

また、公民館利用については特に制限していない。今までも同様、図書館を利用して欲しい。

Q. 带状疱疹予防ワクチン 接種費補助の今後は

A. 今後も補助を 継続していきたい



荒嶽 晋 議員

問 最近TVやラジオなどで带状疱疹ワクチンについてのPRが盛んになっている。水頭症（みずぼうそう）の菌が原因の皮膚病であり、日本人の9割が保有し、そのうち3割が発症すると言われている。今年度から始めたワクチン補助であるが、接種者数及び接種率は。

答 保健福祉課長

令和2年に不活化ワクチンが50歳以上に承認され、それをもとに今年度から補助を実施した。今年度生ワクチンが2名、不活化ワクチン9名の計11名が接種補助を利用して接種率は0.86%である。

問 带状疱疹の怖さをご存じない方が多くおられるのかなと考える。後遺症として神経痛、難聴、失明などあるようだ。あらゆる場面での周知活動をお願いしたいと思うが、補助の継続は。

答 保健福祉課長

带状疱疹は50歳から発症の可能性が高くなり、80歳までに3人に1人は発症すると言われている病気である。生ワクチンで5年、不活化ワクチンで10年の効果がある。高齢者が罹患すると重篤化する場合もある。現在の要綱では、一人2回や1回と回数を制限していることなどを検討し、しっかりと広報しながらワクチン接種率を上げていき、今後も補助を継続していきたい。



Q. 森林環境譲与税の活用について

A. 譲与税の運用の幅を 広げられないか協議する

問 過去3年間の譲与税額、使用金額、基金の実態は。

答 産業振興課長

譲与税の額は、過去3年間で合計1億2,661万7千円、支出合計が4,297万2,596円。過去3ヶ年の基金残高は9,716万6,873円。

問 環境譲与税が始まってから、令和2年7月豪雨災害が発生し、林道も寸断され、思うように譲与税の活用ができなかったのは十分理解している。以前に山、川を守るために架線集材の質問をしたが、今回の事業費において、問伐に譲与税から補助金が支出されており、架線集材での問伐及び全伐にも譲与税の利用は可能と思うが。

答 産業振興課長

現在は、架線集材について補助は行っていないが、今後補助対応は可能と考える。ただ、全伐は国の通達で利用できない。

問 令和2年7月豪雨災害後、林道、河川はスタスタになり、ダムの流木、堆砂土などを多大な税を使い撤去したところに大雨、台風で元の木阿弥である。村長は現在球磨郡の町村会長を務められている。川沿い、谷沿いに限って架線集材による全伐に譲与税が使えるよう、ぜひとも郡市一丸となって国に要望してほしいがどうか。

答 中嶽村長

全伐は経済活動だから譲与税活用の対象外というのが国の考え。ただ、言われるように、河川に木が流れ込み、氾濫するのを防ぐ目的であるなら検討の余地はある。いきなり法律を変えるのは厳しいが、譲与税の運用の幅を広げることを県の担当者と話し合っていく。

その他の質問

・閉校後の小学校校活用について

議員報酬 12年ぶりに改定

今後は「原価方式」も視野に

○議案第3号 水上村議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

11月20日(月)、特別職報酬等審議会から、議員の報酬について答申があった。これまでは、行政改革のもと、平成15年1月から現在に至るまで、実に20年以上(改定4回)議員報酬を下げ続けてきたが、最後に改定された平成24年1月からは12年間据え置きとなっていた。このことについて、県内町村議会議員の平均額まで引き上げるべきではないかと報酬額を示した答申があった。

特別職報酬等審議会は、村長の諮問に応じ、特別職の報酬等の額について審議するために設置されており、「議会の議員の報酬の額並びに村長、副村長及び教育長の給料の額に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ、当該報酬等の額について審議会の意見を聴くものとする」と規定されている。審議会は委員6人で組織されており、村内の公共的団体等の代表者を中心に構成されている。

議員報酬については、これまでも議員定数の問題と並行して協議を重ねてきたが、今回の答申を受け、11月30日(木)の全員協議会で改めて協議し、今定例会本会議で議員報酬を増額する条例改正案を可決した。

国の「第32次地方制度調査会」による答申では、「議員報酬については、主として小規模市町村において、それだけでは生計を維持できないほどの低水準であり、そのことがなり手不足の要因である」との議論がある。また、人口減少社会、昨今の物価高騰、議員定数の削減による議員の活動量及び活動範囲の変化などを考えると、新たななり手も困難な時代に入っている現実があり、住民自治の危機にもつながりかねない。

村民の皆様からは賛否両論あると考えるが、議員報酬の今後は、議員の活動量に比例した報酬額、いわゆる「原価方式」も視野に入れ、村民の皆様が納得できる水準、若手の議員が子育てをしながら生計を維持していける水準、多様な層からの立候補が期待できる条件などを含め、改めて協議していく必要がある。

○改定後の報酬月額（改定前）

議長	308,000円 (295,100円)
副議長	254,000円 (243,300円)
議員	232,000円 (221,400円)

第6回臨時会

令和5年第6回臨時会が10月19日(木)に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

○令和5年度水上村一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に130万円を追加し、総額を58億5,450万円とするもの。水上村社会福祉協議会への補助金130万円が追加計上された。

森林による山村地域の活性化を推進

熊本城ホールで九州大会



会場となった熊本城ホール内の様子

10月31日(火)、令和5年度「森林・林業・林産業活性化九州大会」が熊本城ホールで開催され、本村議会から3名が参加した。

当日は、林業を担う山村地域の活性化に向けた取り組みを一層強化するため、「森林の有する多面的機能の持続的な発揮」、「カーボンニュートラル実現のための再造林」、「間伐等の森林整備関連予算の確保」などの大会決議が採択された。

事例発表では、間伐材の繊維を原料とする「木糸」を使った衣類やスニーカーなどの生活製品を、原材料調達、製品化、販売に至るまですべて自社で行い、輸入に頼らない、環境に配慮した循環生活を提案するという興味深い発表であった。

○基調講演

「森林と都市を結ぶデザイン、そして未来～杉を取り囲むシステムを結びつける」

武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科

教授 若杉 浩一 氏

○事例発表

「『木糸』による挑戦 ～地域資源を活用し、環境負荷の提言を実現する」

株式会社サーキュライフ 代表取締役 川原 剛 氏

水上村森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 杉野 貴文 副会長 杉野 久志 事務局長 成尾 和英

公共を担う人材不足に危機感

議員のなり手不足と議員報酬を考える



あさぎり町せきれい館で開催された研修会

11月10日(金)、上球磨4町村の議会議員が一堂に会し、上球磨町村議会議員研修会が開催された。

日本では深刻な人口減少社会に突入り、特に地方圏の公共を担う人材不足が急速に進んでいる。このような現状に対して、上球磨管内の議会ではどのような対策を講じていくべきか。議員のなり手不足と議員報酬についての関係、議会運営上の工夫、立候補しやすい環境の整備など、複数の視点から解決の糸口を探るための研修となった。

○講演

「議員のなり手不足と議員報酬」 新潟県立大学 准教授 田口 一博 氏

議会広報に創意工夫を

「伝える」と「伝わる」は別



研修に聞き入る広報委員

11月9日(木)、熊本県町村議会議長会による「令和5年度町村議会広報研修会」が熊本県市町村自治会館で開催され、本村議会から4名が参加した。

当日発表された5町村議会の苦勞と創意工夫がうかがえ、本村の議会だよりに活かすためにはどうすべきか。住民の皆様にも、より読んでいただける広報、議会議員の活動をもっと知っていただくために、創意工夫を重ねていきたい。

○基調講演

「少しは化けましたか！ ～創意、熱意の取り組みに学ぶ～」

議会広報ファシリテーター・熊本大学客員教授 ^{こえじ}越地 ^{しんいちろう}真一郎 氏

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋 副委員長 山崎 隆浩
委員 小川 恵 委員 杉野 貴文

県境をまたぐ医療・消防

椎葉村議会、西米良村議会と意見交換



共通課題を議論する正副議長

11月20日(月)、椎葉村議会・西米良村議会と上球磨正副議長会との交流会が多良木町役場で開催され、本村議会からは議長、副議長が出席した。椎葉村と西米良村は、県境をまたいだ宮崎県の自治体ではあるが、上球磨地域と生活圏域が一部重なる自治体でもある。特に医療においては球磨郡公立多良木病院による患者受け入れ、消防については上球磨消防組合が救急出動することもある。

当日は、球磨郡公立多良木病院から高森企業長、上球磨消防組合から高島消防長も出席し、医療と消防について近況をそれぞれ報告し、共通する課題について議論した。医療においては医師不足に伴う診療科の維持、消防においては消防機能の広域化など課題が山積している。

議長 那須 良策 副議長 山崎 隆浩

未整備私有林の解消急務

大分県佐伯市を視察



木の香る複合施設内ギャラリー



佐伯市役所での事業内容説明の様子

12月18日(月)から19日(火)にかけて、水上村、湯前町、上球磨森林組合で構成する「上球磨地区林業振興推進協議会」が主催する視察研修行われ、執行部から中嶽村長と産業振興課職員、本村議会から議長と産業厚生常任委員長が参加した。

初日は、森林環境譲与税の取組実績を豊富に持つ大分県佐伯市役所を訪れ、未整備森林の解消に向けた間伐、作業道・林道整備への補助、木造公共建築物の整備、林業見学会などの譲与税を活用した事業内容について説明を受けた。

翌日、支所と中央公民館の機能に加え、各種団体の事務所が一元化されている「安心院^{あじむ}地域複合支所」を視察。「いつも賑わう“みんなの家”」をコンセプトに、市有林をふんだんに活用した木の温もりを感じる交流拠点となっている。

本村においても、私有林人工林面積が広く、毎年度5,000万円を超える譲与税が国から交付されているため、今後の利活用に向けての検討が急務となっている。

議長 那須 良策 産業厚生常任委員長 杉野 久志

議会を傍聴してみませんか

次回の議会定例会は3月です (手続は住所・氏名を書くだけです)

詳しくは議会事務局 ☎ 44-0319 まで

編集後記

杉野 貴文

まずは、元日の穏やかな時の流れを一変させた能登半島地震の発災により、尊い命を失われた方々のご冥福を祈り、負傷、被災されました方々にお見舞いを申し上げ、早期の復旧、復興が進みますようお祈り申し上げます。

さて、昨年は、WBC14年ぶりの優勝奪還に始まり、慶応高校が107年ぶりに、阪神タイガースが38年ぶりに優勝し野球に沸いた年でした。

さらに、2回連続の満場一致でMVP獲得の大谷翔平選手と3年連続沢村賞受賞の山本由伸投手のドジャース入団が実現し、今季の活躍にも目が離せません。サムライが「助っ人」を務める時代になったのでしょうか。

今年、パリオリンピック開催の年であり、世界の大舞台での日本人選手の躍動に期待するとともに、皆様にとりまして、辰年にちなみ天翔ける龍のごとく飛躍の年となりますようお願いしております。



里宮神社「御縁乃竜」

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋
副委員長 山崎 隆浩
委員 小川 恵
委員 杉野 貴文